



企業理念

私たちは、 先進的技術を駆使した 製品を創造し、 精密加工を通して 世界の製造業の発展に 貢献する

経営方針



内外の法令を遵守し、 フェアな企業活動に徹する

2

イノベーションを追求し、 最先端の技術力と提案力で 社会に貢献する

3

企業価値を高め、 顧客、従業員、株主、 その他のステークホルダー に報いる

更なる増収増益に向け、海外営業の強化及び国内需要の掘り起こしに注力してまいります。



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご 高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2014年度は、引き続き国内外の展示会に出展するとともに、新製品の開発に注力し、ユーザー層の拡大と設備投資需要の取り込みを図ってまいりました。その結果、自動車関連企業を中心に、軸受関連企業や産業機械関連、工作機械関連等の幅広い業種からの受注が好調に推移し、海外でも現地ユーザーからの新規受注を獲得しております。

当期の業績につきましては、売上高は、5,939百万円(前期比33.1%増)となりました。利益面では、営業利益754百万円(前期比232.9%増)、経常利益730百万円(前期比287.8%増)、当期純利益447百万円(前期比458.5%増)となりました。

当期の配当につきましては、好調な業績を踏まえ2 円増額の期末配当12円を実施することとなりました。

2015年度につきまして、国内においては自動車部品関連企業を中心に、産業機械関連企業や工作機械関連企業、航空機関連企業等の幅広い業種からの需要が堅調に推移しており、引き続き安定的な受注が見込まれます。海外においては、中国や韓国、台湾等のアジア地域を始め、米州や欧州の需要も徐々に増加してきております。

特に米州市場においては、世界最大手メーカーへの納入実績を活かし、中堅企業の需要の取り込みを推進してまいります。

今後とも当社は、市場ニーズを捉えた製品の投入を軸に営業展開を図り、需要の発掘及び当社製品の普及拡大に注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月

代表取締役社長 渡辺 登

■トップインタビュー

世界中のお客様の生産性向上に寄与し、新たな価値を提供してまいります。



代表取締役社長 渡辺 登

過去最大の受注を獲得し、 計画を超える大幅な 増収増益を果たした 太陽工機の2014年度。 ここでは渡辺社長への取材を通じて、 当期の総括を踏まえ、 さらなる成長への展開をご説明します。

Q1 当期の営業状況について総括願います。

当期の営業状況は、国内自動車関連企業からの受注が拡大し、その他にも幅広い業種において好調に推移した結果、受注金額の過去最高値を更新する成果を上げました。海外納入案件の受注も伸長し、大手航空機エンジンメーカーからのリピート受注や、国内の軸受関連企業からのベトナム向け大口案件を獲得したほか、韓国や中国、台湾などの新規受注が増加しました。当期の海外納入比率は32%となっています。

受注拡大に伴い、売上高及び利益も当初の計画を大きく上回り、前期の落ち込みからの回復が鮮明になりました。特に利益面は、大ロット・複数台数の受注やリピート受注が増加したことによる増産効果が表れ、大幅な改善を示しています。売上高営業利益率は、前期の5.1%から当期は12.7%へ大幅に上昇しました。

■ 財務ハイライト









(注) 金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■トップインタビュー

企業の設備投資が回復する中で、当社製品が提供する 高い生産効率が評価され、営業面及び製品開発面の自動 車関連向けシフトも奏功した、総じて好調な1年間だったと 捉えています。

Q2

新製品の開発・投入による動きを ご説明願います。

A 2014年10月、新製品のCNC立形複合研削盤「CVG-9」と、高生産型CNC立形研削盤「PGV-2」を市場に投入しました。いずれも加工作業中に次の加工対象物のセッティングを行い、加工終了後に短時間で自動交換を行う機能を備えています。更に、CVGは自動交換装置のレイアウトを大胆に見直し、省スペース化を果たした次世代機種です。「CVG-9」は航空機、建設機械、産業機械、工作機械等向けの中・大型部品加工用として、「PGV-2」は自動車関連向けの小型量産部品加工用として、これまでにない生産性の高さを打ち出しています。

JIMTOF2014 (日本国際工作機械見本市)への出展では、「CVG-9」の明確なコンセプトと生産性を格段に高めるシステムがニーズを確実に捉え、国内外のお客様から受注を獲得しました。これらの新製品も含め、受注は好調となっており、当社工場の生産体制は現在フル稼働状態となっています。

当社は今後、「CVG-9」「PGV-2」の開発を通じて確立した「生産性の向上を追求した製品づくり」を引き続き推進していきます。2015年は、「CVG-9」のラインナップを加工ワークのサイズに合わせて拡充し、「PVG-2」は自動車のトランスミッション(変速機)部品をターゲットに、高生産性を更に追求した進化版を投入する予定です。

Q3

今後の成長に向けた取り組みを お聞かせください。

A 当社は、現在約30%の海外売上高比率を中長期的には50%に引き上げたいと考えています。そのために、欧州、米州(シカゴ)、中国(北京・上海)における営業・サービス体制を活かし、地域ごとのターゲット業種に合わせた需要獲得策を推進していきます。

欧州では、航空機エンジンや産業機械、工作機械関連を重点ターゲットとしつつ、今後は自動車関連の需要獲得も目指します。米州では、航空機エンジンや建設機械、軸受関連の最大手メーカー向け納入実績をもとに、そのサプライチェーンを構成する中堅・中小企業にターゲットを拡げていきます。アジア(中国、韓国、台湾、タイ、インド)では、自動車関連や産業機械を中心に設備投資需要の掘り起こしを図ります。

一方、国内市場においては、自動車関連を引き続きボリ ュームゾーンと位置付けています。 そのニーズを的確に捉 えた新製品の開発・投入により積極攻勢をかけ、更に拡販 につなげていく考えです。

Q4

次期(2015年12月期)の見通しはいかがでしょうか?

A 当社は、このたびの第30期定時株主総会にて ご承認いただき、次期から決算期を3月から12月に変更することとしました。そのため次期は、2015年4月1日から同年12月31日までの9ヵ月決算となります。この決算期変更は、当社親会社であるDMG森精機株式会社との決算期統一により、グループ経営の効率化を図ることが目的です。

足もとの受注状況は、引き続き幅広い業種において堅調に推移しており、ここに述べてきました営業施策と新製品の開発・投入を着実に進めていくことで、次期の業績は、12ヵ月換算による実質比較ベースで更に増収増益を果たせるものと見込んでいます。

Q5

株主の皆様へのメッセージを お願いします。



このたびの期末配当は、業績の好調を踏まえ、 1株当たり12円(前期比2円増配)とさせていただ きました。次期の期末配当は、2015年12月31日を基準日として、今のところ当期と同額の実施を計画しています。

太陽工機はまだまだ小さな会社ですが、工作機械業界の中でも極めて高い精度が求められる研削盤分野で、お客様のニーズに向き合い、常に開発活動に注力し、新しい考え方に基づく製品を生み出すことで、お客様の評価と信頼をいただいてまいりました。今後も、こうした姿勢をつらぬき、企業価値を高めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業への長 期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。



国内を中心とした本格的な需要の回復を受け、増収増益を達成いたしました。

当期の工作機械業界は、国内、海外とも受注状況は高水準に推移し、2007年度に次ぐ、受注高となりました。

当社の受注状況も国内の幅広い業種で好調に推移するとともに、海外も増加傾向となっており、受注高及び売上高は前年度を大きく上回る結果となりました。 国内においては、自動車関連企業からの複数台受注を多数獲得した他、国内の軸受関連企業からの大口受注も獲得いたしました。海外においては、中国や韓国、台湾等のアジア地域を中心に現地ユーザーから新規受注を獲得しております。

当期の受注高は7,585,145千円(前期比68.0%増)、売上高は、5,939,447千円(前期比33.1%増)となりました。営業利益754,805千円(前期比232.9%増)、経常利益730,957千円(前期比287.8%増)、当期純利益447,715千円(前期比458.5%増)となりました。

その他 研削盤

自動車部品関連企業や産業機械関連企業からリピート受注をいただきました。

国内の自動車部品関連企業から継続的に、タイやハンガリーの海外向けリピート受注をいただいております。また、産業機械関連企業の高精度なネジの加工をターゲットとしたネジ研削盤TGNシリーズが、お客様のニーズにマッチし、リピート受注を獲得いたしました。当期のその他研削盤の売上高は562,517千円(前期比9.1%減)となりました。今後はTGNシリーズの更なる拡販を推し進めてまいります。

562 562 百万円

%

横形研削盤

工作機械関連及び産業機械関連企業からの受注が売上に貢献いたしました。

工作機械関連企業及び産業機械関連企業の更なる高度化する加工ニーズにお応えしたIGHシリーズとIGTシリーズが高い評価をいただき、増収に寄与いたしました。また自動車関連企業からCGNシリーズの複数台受注を獲得いたしました。その結果、当期の横形研削盤の売上高は1,421,965千円(前期比255.8%増)となりました。

今後とも、製品の付加価値の向上並びに 販路拡大を図ってまいります。



横形研削盤とは

売上高



研削盤は、旋盤やマシニングセンタなどで加工された部品を砥石で磨き、仕上げを行う工作機械です。部品を重力に対して水平に回転させて加工するタイプの機械を横形研削盤と言います。

23.9 2014年度 **5.9**

立形研削盤

小型機や標準機、汎用機等の幅広い研削盤の受注が、増収に寄与いたしました。

自動車関連企業から小型機IGVシリーズの複数台受注を数多くいただいた他、産業機械関連企業や軸受関連企業、工作機械関連企業から標準機であるNVGIシリーズ、汎用機であるVertical Mateシリーズの受注をいただきました。

また2014年10月に発表した「CVG-9」は、発表直後から受注を獲得いたしました。その結果、当期の立形研削盤の売上高は3,954,964千円(前期比14,9%増)となりました。

CVG-9 売上高 売上高 航空機 5.4% 電機 1.0% 造船·輸送機械 0.4% 丁作機械関連 15.2% 一般産業 産業機械 機械合計 24.7% 44.3% 2014年度 業種別受注 軸受 14.9% 白動車関連 33.7% 建設機械 4.7% 売上高

立形研削盤とは



立形研削盤は、部品を重力に対して垂直方向に 可転させて加工する方式 の工作機械です。当社が もつ独自技術により1991 年に業界で初めて開発・ 製品化し、現在は主力製 品として国内でトップシェア を占めていまっ 加工する 部品を垂直に設置であるけず をいまった場合にないまったば かりか重力の優々なではする もち、工場内の省スペース 化にも貢献します。

当社の研削盤が加工した製品は、こんなところで使われています。



当社の研削盤は、自動車や航空機、建設機械におけるエンジン部品やシャフト、ベアリング、風力発電設備の変速機といった重要部品の加工に利用されています。0.001mm単位で要求される精度に応えて、低燃費の実現や振動の抑制などによる乗り心地、安全性、長寿命等品質の向上に重要な役割を果たしています。

貸借対照表 (単位:千円)

【資産の部】 流動資産 107,751 435,35 売掛金 1,187,573 1,611,32 仕掛品 799,370 994,86 原材料及び貯蔵品 190,725 222,30 前払費用 15,620 16,44 その他 19,936 92 資産 79,344 97,56 その他 19,936 92 (有形固定資産) (1,221,417) (1,156,55) 建物 746,193 699,64 横板及び装置 94,099 84,21 横板及び装置 94,099 84,21 東面運搬具 6 工具、器具及び備品 16,385 10,82 土 地 354,269 (4,905) (3,83 大 で	貸借 対照表								
流動資産 2,399,323 3,377,78 現金及び預金 107,751 435,35 売掛金 1,187,573 1,611,32 仕掛品 799,370 994,86 原材料及び貯蔵品 190,725 222,30 前払費用 15,620 16,44 繰延税金資産 79,344 97,56 その他 19,936 92 貸倒引当金 △1,000 △1,000 固定資産 (1,227,974 1,238,42 (1,221,417) (1,156,55 建物 746,193 699,64 機械及び装置 94,099 84,27 車両運搬具 6 16,385 10,82 土地 354,269 354,26 (無形固定資産) (4,905) (3,83 ソフトウエア 4,246 3,17 電話加入権 659 (51,650) (78,03 長期前払費用 - 15,16 4,083 3,78	科	B			当期 2015年3月31日現在				
現金及び預金 107,751 435,35 1,611,35 1,187,573 1,611,35 1,611,35 1,994,86 原材料及び貯蔵品 190,725 222,36 前 払 費 用 15,620 16,44 97,56 6	【資	産 の 部	1						
売 掛 金 1,187,573 1,611,32	流 動	資 産	Ē	2,399,323	3,377,789				
世 掛 品 799,370 994,86 原材料及び貯蔵品 190,725 222,30 前 払 費 用 15,620 16,44 繰延税金資産 79,344 97,56 そ の 他 19,936 92 6 倒 引 当 金 △1,000 △1,000 固定資産 (1,227,974 (1,238,42 (有形固定資産) 746,193 699,64 機械及び装置 94,099 84,27 中 両 運 搬 具 6	現 金	及 び 預	金	107,751	435,358				
原材料及び貯蔵品 190,725 222,30 16,44	売	掛	金	1,187,573	1,611,321				
前 払 費 用 15,620 16,44 97,56 を の 他 19,936 92 位 例 引 当 金 △1,000 △1,000 □ 定 資 産 (1,227,974 (1,238,42 (1,156,55) 産 物 10,462 7,59 機 械 及 び 装 置 94,099 84,27 車 両 運 搬 具 6 工具、器具及び備品 16,385 10,82 土 地 354,269 (4,905) (3,83	仕	掛	品	799,370	994,860				
繰延税金資産 79,344 97,56	原材料	及び貯蔵	哉 品	190,725	222,301				
そ の 他 19,936 92 貸 倒 引 当 金 △1,000 △1,000 固 定 資 産 1,277,974 1,238,42 (有形固定資産) (1,221,417) (1,156,55 建 物 10,462 7,59 機 械 及 び 装 置 94,099 84,22 車 両 運 搬 具 6 工具、器具及び備品 16,385 10,82 土 地 354,269 354,26 (無形固定資産) (4,905) (3,83 ソ フ ト ウ エ ア 4,246 3,17 電 話 加 入 権 659 65 (投資その他の資産) (51,650) (78,03 長 期 前 払 費 用 — 15,16 繰 延 税 金 資 産 4,083 3,78	前 拮	弘 費	用	15,620	16,449				
貸 倒 引 当 金 △1,000 △1,000 □ 定 資 産 1,277,974 1,238,42 (1,221,417) (1,156,55 元 位 1,221,417) (1,15	繰 延	税 金 資	産	79,344	97,568				
固定資産 1,277,974 1,238,42 (有形固定資産) (1,221,417) (1,156,55 建 物 746,193 699,64 構築 物 10,462 7,59 機械及び装置 94,099 84,27 車両運搬具 6 工具、器具及び備品 16,385 10,82 生地 354,269 354,269 (無形固定資産) (4,905) (3,83 ソフトウエア 4,246 3,17 電話加入権 659 65 (投資その他の資産) (51,650) (78,03 長期前払費用 - 15,16 繰延税金資産 4,083 3,78	そ	σ	他	19,936	929				
(有形固定資産) 建 物 746,193 699,64 橋 築 物 10,462 7,59 機 械 及 び 装 置 94,099 84,27 車 両 運 搬 具 6 工具、器具及び備品 16,385 10,82 土 地 354,269 (無形固定資産) (4,905) (3,83 分 で で 話 加 入 権 659 659 (投資その他の資産) 長 期 前 払 費 用 ー 15,16 繰 延 税 金 資 産 4,083 3,78	貸 倒	引 当	金	△1,000	△1,000				
建物 746,193 699,64 標 築物 10,462 7,59 機 械 及 び 装 置 94,099 84,27 重 両 運 搬 具 6 工具、器具及び備品 16,385 10,82 土 地 354,269 (4,905) (3,83 ソ フ ト ウ ェ ア 4,246 3,17 電 話 加 入 権 659 (投資その他の資産) (51,650) 長 期 前 払 費 用	固定	資 産	Ē	1,277,974	1,238,424				
構 築 物 10,462 7,556 機 械 及 び 装 置 94,099 84,276 車 両 運 搬 具 6 工具、器具及び備品 16,385 10,82 土 地 354,269 (4,905) (3,83 ソ フ ト ウ ェ ア 4,246 3,17 電 話 加 入 権 659 (投資その他の資産) (51,650) (78,03 長 期 前 払 費 用 ー 15,16 繰 延 税 金 資 産 4,083 3,78	(有形圆	固定資産))	(1,221,417)	(1,156,550)				
機 械 及 び 装 置 94,099 84,27 車 両 運 搬 具 6 16,385 10,82 土 地 354,269 354,269 (無形固定資産) (4,905) (3,83 分 で 話 加 入 権 659 (投資その他の資産) (51,650) (78,03 会 税 延 税 金 資 産 4,083 3,78	建		物	746,193	699,648				
車 両 運 搬 具 6 工具、器具及び備品 16,385 10,82 土 地 354,269 (4,905) (3,83 ソフトウェア 4,246 3,17 電 話 加 入 権 659 659 (投資その他の資産) (51,650) (78,03 長 期 前 払 費 用 - 15,16 繰 延 税 金 資 産 4,083 3,78	構	築	物	10,462	7,592				
工具、器具及び備品 16,385 10,82 354,269 (無形固定資産) (4,905) (3,83 3,17 電話加入権 659 (投資その他の資産) (51,650) 長期前払費用 - 15,16 線延税金資産 4,083 3,78	機械	及 び 装	置	94,099	84,214				
土 地 354,269 354,269 (無形固定資産) (4,905) (3,83 ソフトウェア 4,246 3,17 電話加入権 659 65 (投資その他の資産) (51,650) (78,03 長期前払費用 - 15,16 繰延税金資産 4,083 3,78	車両	運 搬	具	6	0				
(無形固定資産) (4,905) (3,83) ソフトウェア 4,246 3,17 電話加入権 659 65 (投資その他の資産) (51,650) (78,03) 長期前払費用 - 15,16 繰延税金資産 4,083 3,78	工具、	器具及び値	備 品	16,385	10,825				
ソフトウェア 4,246 3,17 電話加入権 659 65 (投資その他の資産) (51,650) (78,03 長期前払費用 - 15,16 繰延税金資産 4,083 3,78	土		地	354,269	354,269				
電話加入権 659 659 (78,03 (78,03 長期前払費用 - 15,16 (28,03 (37,08)	(無形固	固定資産))	(4,905)	(3,838)				
(投資その他の資産) (51,650) (78,03) 長期前払費用 - 15,16 繰延税金資産 4,083 3,78	ソフ	トゥエ	ア	4,246	3,178				
長期前払費用 - 15,16 繰延税金資産 4,083 3,78	電話	加入	権	659	659				
繰延税金資産 4,083 3,78	(投資その	の他の資産))	(51,650)	(78,035)				
	長 期	前 払 費	用	_	15,162				
	繰 延	税 金 資	産	4,083	3,786				
敷 金 及 び 保 証 金 47,417 58,93	敷 金 刀	及 び 保 証	金金	47,417	58,935				
その他 150 15	そ	の	他	150	150				
資 産 合 計 3,677,297 4,616,21	資 産	合	計	3,677,297	4,616,213				

(注)金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

(単位:千円)

科	目		前期 2014年3月31日現在	当期 2015年3月31日現在
【 負 債	の部]		
流 動	負 債		461,689	1,051,537
買	掛	金	152,541	375,182
短 期	借入	金	60,000	_
リ ー	ス債	務	57,132	58,952
未	払	金	55,303	74,557
未 払	費	用	46,452	52,356
未払法	人税	等	22,584	303,254
製品保	証引当	金	38,891	62,405
役員賞	与 引 当	金	21,947	19,227
そ	の	他	6,836	105,601
固 定	負 債		753,720	689,284
リ ー	ス債	務	711,317	652,365
長 期	未 払	金	42,402	36,918
負 債	合	計	1,215,410	1,740,821
【純資	産 の 部]		
株 主	資 本		2,450,695	2,875,391
資	本	金	700,328	700,328
資 本	剰 余	金	471,970	472,960
資本	準 備	金	387,828	387,828
その他	資本剰余	金	84,142	85,132
利 益	剰 余	金	1,317,301	1,735,696
その他	利益剰余	金	1,317,301	1,735,696
繰 越	利益剰余	金	1,317,301	1,735,696
自 己	株	式	△38,905	△33,594
新 株 予	約 権		11,192	-
純資	産 合	計	2,461,887	2,875,391
負債純	資 産 合	計	3,677,297	4,616,213

損益計算書

(単位:千円)

科目	前期 自 2013年4月1日 至 2014年3月31日	当期 自2014年4月1日 至2015年3月31日					
売 上 高	4,461,937	5,939,447					
売 上 原 価	3,142,832	4,108,929					
売 上 総 利 益	1,319,105	1,830,518					
販売費及び一般管理費	1,092,398	1,075,713					
営 業 利 益	226,707	754,805					
営業外収益	8,779	11,256					
営業外費用	47,000	35,104					
経 常 利 益	188,486	730,957					
特別利益	227	8,942					
新株予約権戻入益	227	8,942					
特別損失	_	1,774					
有形固定資産除却損	_	1,774					
税引前当期純利益	188,713	738,124					
法人税、住民税及び事業税	25,453	308,336					
法 人 税 等 調 整 額	83,092	△17,927					
法人税等合計	108,546	290,409					
当期 純利益	80,167	447,715					
(注)							

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	前期 自 2013年4月1日 至 2014年3月31日	当期 自2014年4月1日 至2015年3月31日		
営業活動によるキャッシュ・フロー	△135,604	488,541		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,095	△18,583		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,587	△142,350		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△188,288	327,607		
現金及び現金同等物の期首残高	296,039	107,751		
現金及び現金同等物の期末残高	107,751	435,358		

⁽注)金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

(注)金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	株 主 資 本									
当期			資本剰余金		利益剰余金			#+->-次-+-	新株	純資産
自 2014年4月1日 至 2015年3月31日	資本金	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計	自己株式	株主資本 合計	予約権	合計
		744 HH312	ていた。	英牛州水亚山山	繰越利益剰余金	100000000000000000000000000000000000000				
2014年3月31日残高	700,328	387,828	84,142	471,970	1,317,301	1,317,301	△38,905	2,450,695	11,192	2,461,887
当期変動額										
剰余金の配当					△29,320	△29,320		△29,320		△29,320
自己株式の処分			989	989			5,310	6,300		6,300
当期純利益					447,715	447,715		447,715		447,715
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)									△11,192	△11,192
当期変動額合計	_	_	989	989	418,395	418,395	5,310	424,696	△11,192	413,504
2015年3月31日残高	700,328	387,828	85,132	472,960	1,735,696	1,735,696	△33,594	2,875,391	-	2,875,391

(注)金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

立形研削盤の更なる進化へ ~お客様の研削加工工程に革新を~

2014年度は、当社主力機種であるNVGIIシリーズの機能を更に高めた中・大型の立形複合研削盤「CVG-9」並びに、 量産部品の加工に適した高生産型立形研削盤「PGV-2」の2機種を発表いたしました。

2014年10月30日~11月4日の6日間、東京ビッグサイトにて開催されたJIMTOF2014 (日本国際工作機械見本市)では、新製品の「CVG-9」及び「PGV-2」を含む全3機種を出展し、当社ブースは多くのご来場者でにぎわいを見せました。特に

明確なコンセプトと機能をもつ新製品は、研削盤業界でひときわ注目 を集め、国内外のお客様から受注をいただくことができました。

2015年度は、「CVG-9」及び「PGV-2」の需要増加を見込み、CVGシリーズにつきまして、加工する部品のサイズに合わせ、ラインナップの拡充を行っております。PGVシリーズにつきましては、「PGV-2」よりも更に高生産を追求した進化版を開発してまいります。

今後とも当社は、お客様のニーズにマッチした製品を開発し、需要 拡大に尽力してまいります。



PGV-2 高生産型立形研削盤 自動車部品等 小型量産部品の加工向け



CVG-9 立形複合研削盤 航空機・建設機械・産業機械・工作機械等 中・大型部品の加工向け

決算期の変更

当社の事業年度を、「毎年4月1日から翌年3月31日まで」から「毎年1月1日から12月31日まで」に変更いたします。

親会社であるDMG森精機株式会社のグループ会社として、決算期を統一することで、業績等の経営情報の適時・適切な開示による経営の効率化を図ってまいります。

今後も、グループ一体となった経営を推進するとともに、海外販売網を活用し、海外市場の開拓を推進することで、世界トップクラスの研削盤メーカーに成長してまいります。

なお、決算期変更の経過期間となる第31期は、平成27年4月1日から平成27年12月31日までの9ヶ月決算となります。

■会社の概要 (2015年6月23日現在)

Corporate Data

Stock Data

会 社 名 株式会社太陽工機 (TAIYO KOKI CO., LTD.)

資 本 金 700,328,200円

設 立 1986年3月14日

主な事業内容 工作機械(各種研削盤)の開発・製造及び販売

従 業 員 170名

ホームページ http://www.taiyokoki.com/

本社所在地 新潟県長岡市西陵町221-35

関連会社 DMG森精機株式会社

代	表取	(締	役社	長	渡		辺		登
常	務	取	締	役	小		林	秋	男
常	務	取	締	役	棚		橋	基	裕
取		締		役	髙		村	寛	義
取		締		役	渡		辺		剛
取		締		役	加		藤	祐	司
取		締		役	森			雅	彦
取		締		役	間		瀬		宏
常	勤	監	査	役	大		野	和	彦
監		査		役	大		野	義	彰
監		查		役	内	ケ	崎	守	邦

■株式の状況 (2015年3月31日現在)

発行済株式の総数 2,978,200株

株 主 数 870名

大 株 主

発行可能株式総数

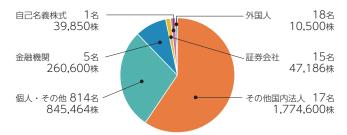
大株主(自己株式は除く)	持株数(株)	持株比率(%)
DMG森精機㈱	1,494,000	50.8
㈱渡辺	152,000	5.2
渡辺登	148,000	5.0
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱	141,200	4.8
太陽工機従業員持株会	117,600	4.0
㈱井高	108,000	3.7
㈱第四銀行	40,000	1.4
㈱三井住友銀行	40,000	1.4
日本マスタートラスト信託銀行㈱	27,300	0.9
中田有希	15,400	0.5

9.000.000株

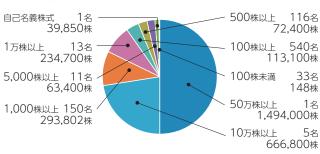
(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式 (39,850株)を除いて計算しております。

所有者別分布状況

(2015年6月23日



所有数別分布状況



株主メモ

事業年度 1月1日~12月31日

期末配当金 受領株主確定日

12月31日

中間配当金 受領株主確定日

6月30日

定時株主総会

毎年3月

株主名簿管理人

三井住友信託銀行株式会社

同 連 絡 先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

TEL 0120-782-031 (通話料無料)

特別口座の口座 管 理 機 関 三菱UFI信託銀行株式会社

連 絡 先

三菱UFI信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号

上場証券取引所

東京証券取引所IASDAQ(スタンダード)

TEL 0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL

http://www.taiyokoki.com/

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のや むを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いた します。)

ホームページのご紹介

http://www.taiyokoki.com/

当社ではホームページにて当社の企業情 報を随時開示しています。製品紹介、各 種リンク、サポート情報等を掲載してい るほか、IR情報のサイトでは決算短信等 がご覧いただけます。



ネットワーク

<国内拠点>

本社・工場

〒940-2045 新潟県長岡市西陵町221-35 TEL. 0258-42-8808 (代) FAX. 0258-42-8810

東部営業所

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-340 ウノビル7階 TEL. 048-658-8701 FAX. 048-658-8702

中部営業所

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-35-16 (DMG森精機株式会社内)

TEL. 052-563-1270 FAX. 052-563-1310

西部営業所

〒564-0052 大阪府吹田市広芝町4-1 江坂・美貴ビル8階 TEL. 06-6378-7166 FAX. 06-6378-7167

<海外拠点>

中国(北京)

Room 1605, Tower B, Global Trade Center, No.36 North Third Ring Road East, Dongcheng District, Beijing 100013, China TEL. +86-10-5825-6006 FAX. +86-10-5825-6007 (DMG MORI SFIKI China 北京テクニカルセンタ内)

中国 (ト海)

No.331 Guangzhong Road, Minhang District, Shanghai 201108. China

TEL. +86-21-6764-8876 FAX. +86-21-6764-9033 (DMG MORI SEIKI China 上海ソリューションセンタ内)

アメリカ (シカゴ)

2400 Huntington Boulevard Hoffman Estates, Illinois 60192 TEL. +1-847-593-5400 FAX. +1-847-593-5433 (DMG MORI SEIKI U.S.A., Inc. シカゴテクニカルセンタ内)

ヨーロッパ

Sulzer-Allee 70 CH-8404 Winterthur, Switzerland TEL. +41-58-611-5000 FAX. +41-58-611-5001 (DMG MORI SEIKI EUROPE AG内)





